

米国における対日世論調査 (有識者の部)

平成15年7月
外務省
大臣官房海外広報課

調査結果の概要（原則として過去6年のデータを付記。数値が不明なものはN.A.として表記。）

設問1 - a：アジア地域の中でどの国が米国にとり最も重要なパートナーであるか。

回答：

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
日本	63	64	72	72	75	72	72
中国	25	23	20	20	19	20	18
ロシア	6	6	2	3	2	3	2
それら以外の国	3	3	5	4	2	1	4
アジア以外の国	1	2	0	0	1	1	2
わからない	2	2	1	1	1	3	2

(%)

設問1 - b：なぜその国を最も重要なパートナーと見なしているか（複数回答：上位5位）。

回答：

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
(1) 強い経済力	33	30	28	24	28	35	25
(2) 良好な貿易関係	21	18	27	25	31	26	33
(3) 経済的結びつき、米国への投資	19	37	37	31	31	41	34
(4) 国のサイズ・人口の大きさ	15	16	12	11	11	11	11
(5) 国の強さ・力強い国家・指導者	13	4	3	15	3	6	11

(%)

(注) 上記以外の回答として「政治的結びつき、米国を支持」など28項目。

設問 2 - a : 日本は信頼できる友邦であると考えているか。

	(%)						
回答 :	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
信頼できる	91	91	85	87	87	89	87
信頼できない	5	5	10	9	10	7	8
分からない	4	4	5	4	3	4	5

設問 2 - b : なぜそう思うか。

回答 :

() 「信頼できる」と答えた者が挙げる主な理由 (複数回答 : 上位 5 位)。

	(%)						
	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
(1) 経済的結びつき・日本の投資	17	24	24	23	21	34	20
(1) 過去の経験、歴史	17	10	12	18	11	10	14
(2) 同盟・良好な関係	13	11	11	8	7	6	5
(3) 政治的結びつき・米国を支持・民主的	12	13	9	11	8	16	11
(4) 共通の利益・価値観	11	8	9	17	14	14	15
(5) 日本の自衛力の脆弱さ	9	11	13	0	0	0	N.A.

(注) 上記以外の回答として「良好な貿易関係」など 27 項目。

() 「信頼できない」と答えた者が挙げる主な理由(複数回答:上位3位)。

	(%)						
	2003*	2002*	2001	2000	1999	1998	1997
(1) 日本は自国の利益にのみ関心がある	38	12	33	41	41	1	38
(2) TVメディアの報道	23	6	22	13	18	8	N.A.
(3) 不公正な貿易慣行・貿易不均衡	15	6	3	19	15	8	24
(3) 日本の自衛力の脆弱さ	15	0	3	3	0	0	N.A.

(注) 上記以外の回答として「過去の出来事」など5項目。

* 2002年及び2003年については本質問の対象となる人数が非常に少なかったため、数字は参考データとして記載。

設問 3 - a : 概して、日本に対し、好意的であるか、否定的であるか。(注)設問 3 - a、bとも95年より実施。

回答 :	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997 (%)
好意的	81	81	75	79	74	76	78
否定的	5	6	9	8	11	10	9
わからない	14	13	15	13	15	14	13

設問 3 - b : 何故そう思うか。

回答 :

() 「好意的」と答えた者が挙げる主な理由 (複数回答: 上位 5 位)。	(%)						
	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
(1) 同盟国・友好関係	20	13	12	12	10	10	11
(2) 強い経済力	19	20	14	14	19	20	18
(3) 日本人との個人的交流	13	8	8	14	8	7	6
(3) 良好な貿易関係	13	10	12	10	9	10	14
(4) 民主的政府	12	7	0	12	6	0	N.A.
(5) 経済的結びつき・日本の投資	10	23	17	10	15	20	24

(注) 上記以外の回答として「共通の関心、価値観」など 28 項目。

() 「否定的」と答えた者が挙げる主な理由 (複数回答: 上位 3 位)。	(%)						
	2003*	2002*	2001	2000	1999	1998	1997
(1) 不公平な貿易慣行	17	29	22	32	32	19	24
(2) 過去の出来事	17	0	6	4	0	11	9
(3) 貿易政策 / 経済摩擦 / 米国との競争	17	14	25	21	15	38	38

(注) 上記以外の回答として「日本の不況、経済問題の米国への影響」など 9 項目。

* 2002 年及び 2003 年については本質問の対象となる人数が非常に少なかったため、数字は参考データとして記載。

設問 4 - a: 日本はどの程度その経済力に見合った国際的役割を果たしていると思うか。

回答:

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
経済力に見合った役割を果たしている	22	18	14	10	10	10	12
少しは果たしている	40	49	47	49	45	46	49
応分の役割を果たしていない	36	31	38	39	44	43	38
意見なし	2	2	1	2	1	1	1

設問 4 - b：次のそれぞれの分野で日本は重要な国際的役割を果たしていると思うか（数値は「思う」と答えた者の割合で複数回答）。

回答：

	(%)						
	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
(1) 世界経済	93	94	94	95	94	97	96
(2) 科学技術	96	94	91	95	92	93	95
(3) 世界政治	60	62	57	60	57	59	62
(4) 開発途上国援助	54	63	58	53	60	59	61
(5) 文化交流	60	58	56	51	56	54	54
(6) 環境、人口増加、エイズ等地球規模問題	59	59	48	40	44	49	35
(7) 安全保障（PKO含）	24	29	23	20	19	21	21

(注) この設問は94年より実施。「地球規模問題」は98年まで「環境問題」としていた。

設問 5：国際社会で日本はどの分野でリーダーシップを果たすことが重要と考えるか。（注）この設問は93年より実施。

（単位：％。1 = 「全然重要でない」、5 = 「非常に重要」の意味で、1～5はその程度を示す。）

回答：

（ ）外交努力による世界平和の推進 (％)

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
1 「全然重要でない」	2	3	3	1	2	1	1
2	7	6	6	8	11	8	6
3	20	24	25	25	23	26	20
4	39	29	31	27	35	28	30
5 「非常に重要」	32	37	35	37	29	37	42

（ ）防衛力整備による世界平和の推進 (％)

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
1 「全然重要でない」	12	11	11	13	13	10	9
2	14	17	22	21	26	24	24
3	35	30	33	36	33	32	36
4	28	26	23	21	17	22	23
5 「非常に重要」	10	13	11	8	10	10	8

（ ）世界経済の発展 (％)

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
1 「全然重要でない」	2	2	2	1	1	0	1
2	2	3	3	1	3	2	2
3	13	10	10	8	6	13	12
4	41	37	34	39	33	34	36
5 「非常に重要」	43	48	50	49	56	50	49

() 開発途上国援助	(%)						
	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
1 「全然重要でない」	3	3	2	2	1	3	2
2	8	7	7	6	6	6	4
3	18	20	25	18	19	19	20
4	39	34	34	41	41	35	39
5 「非常に重要」	31	35	31	33	33	37	35

() 文化交流	(%)						
	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
1 「全然重要でない」	6	5	4	5	5	4	3
2	14	15	17	15	18	16	16
3	42	38	43	38	38	35	38
4	20	24	22	24	21	25	26
5 「非常に重要」	17	18	14	17	18	20	17

() 科学技術の開発	(%)						
	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
1 「全然重要でない」	2	4	2	0	0	1	1
2	4	2	4	4	3	2	2
3	14	16	15	17	20	19	15
4	47	39	46	41	39	41	46
5 「非常に重要」	34	39	33	37	38	37	37

() 環境、人口増加、エイズ等の地球規模問題	(%)						
	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
1 「全然重要でない」	4	4	4	2	3	3	1
2	11	10	8	8	8	4	8
3	20	21	21	23	26	20	19
4	34	31	29	32	30	30	31
5 「非常に重要」	30	34	38	35	32	43	41

(注：98年までは本項目は「環境保護」としていた。)

設問 6 -a: 日本人と米国人は良く理解し合っていると思うか。

回答:

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997 (%)
良く理解し合っている	19	17	15	8	11	11	9
普通	61	59	60	63	62	60	64
そうは思わない	18	23	25	28	27	29	27
意見なし	2	1	0	1	0	0	0

設問 6 - b : 何故そう思うか。

回答 :

() 「良く理解し合っている」と答えた者が挙げる主な理由 (複数回答 : 上位 5 位)。

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997 (%)
(1) 良好な経済・貿易関係	19	16	18	6	11	26	17
(2) 日米間の文化交流が多い	15	16	9	13	9	29	3
(2) 共通の利益、価値観	15	13	7	13	8	10	3
(3) 日米の良好な関係	13	27	7	34	17	10	26
(3) 日本在住米国人・米国在住日本人	13	7	5	0	0	0	11
(4) 日本人との個人的交流	11	13	9	0	7	12	9
(4) 日米の共同作業	11	11	5	0	7	2	6
(5) お互いに相手についての知識がある	9	23	18	19	26	24	14

(注) 上記以外の回答として「良好なコミュニケーション」など 10 項目。「日米間の文化交流が多い」は 95 年より追加。

() 「普通」、「そうは思わない」と答えた者が挙げる主な理由 (複数回答 : 上位 5 位)。

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997 (%)
(1) 相互に相手について無知 (接触の不足等)	24	20	26	33	21	16	16
(2) 文化的差異	23	27	28	31	31	42	43
(3) 特に理由はないが無関心	9	18	20	0	0	4	N.A.
(3) 米国人は自国のみ関心あり	9	2	6	3	3	0	N.A.
(4) 言葉の壁	7	11	5	8	5	7	6
(4) 日本の方が米をよく知っている	7	1	4	7	3	0	N.A.
(5) 関心・価値観の相異	5	6	6	3	1	0	N.A.

(注) 上記以外の回答として「第二次世界大戦の記憶」など 34 項目。

設問7：現在の日米間の協力関係を一般的に言ってどう思うか。

回答：

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
極めて良好	16	15	9	9	3	8	5
良好	62	66	65	72	60	58	59
普通	18	15	23	17	34	32	33
良くない	1	2	1	1	2	1	2
わからない	3	2	2	1	1	1	1

(%)

設問 8 -a：日米関係は今後どのようになると考えるか。

回答：

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
良くなる	34	36	36	35	42	42	48
変わらない	50	55	50	59	47	48	45
悪化する	11	6	11	4	8	6	4
わからない	5	3	3	2	3	4	3

(%)

(注) この設問は93年より実施。

設問 8 -b：先端技術分野における日米間の関係は今後どのようになると考えるか。

回答：

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
両国の協力関係が進む	50	49	39	40	41	35	36
競争が激化し、摩擦が進む	46	45	56	54	54	60	57
意見なし	4	6	5	6	5	5	7

(%)

(注) この設問は93年より実施。

設問 9 -a: より良い日米関係のため、以下 4 つの方法のうちいずれが最も有効と考えるか。

回答：

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
(1) 経済・貿易関係の改善	47	63	60	69	75	79	78
(2) 環境、エイズ、人口といった地球的規模の問題 における協力の促進	22	15	19	12	8	9	8
(3) 政治的（安全保障を含む）関係の強化	26	17	12	10	12	6	9
(4) 文化交流の促進	4	4	6	7	4	5	3
(5) 意見なし	1	1	2	2	1	1	2

(注) この設問は 9 5 年より実施。

設問 9 - b : 日米いずれが一義的な行動をとるべきか。(注)この設問は99年より実施。

(1) 経済・貿易関係の改善	2003	2002	2001	2000	1999 (%)
日本	42	51	51	55	60
米国	27	23	20	19	17
日米双方が等しく	31	24	28	24	23
意見なし	0	2	1	2	0
(2) 環境、エイズ、人口といった地球規模問題における協力の促進					
	2003	2002	2001	2000	1999 (%)
日本	11	4	6	15	17
米国	68	81	80	60	39
日米双方が等しく	19	15	13	17	37
意見なし	2	0	1	8	7
(3) 政治的(安全保障を含む)関係の強化					
	2003	2002	2001	2000	1999 (%)
日本	23	28	32	22	40
米国	42	36	41	59	47
日米双方が等しく	33	32	25	19	13
意見なし	2	4	2	0	0
(4) 文化交流の促進					
	2003*	2002*	2001	2000	1999 (%)
日本	20	17	12	8	0
米国	50	58	42	48	49
米双方が等しく	30	25	42	40	51
意見なし	0	0	4	4	0

* 2002年及び2003年については本質問の対象となる人数が非常に少なかったため、数字は参考データとして記載。

設問 10 - a : 日米間の現在の貿易不均衡の主な理由はなんであると考えるか。

回答 :

	(%)						
	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
(1) 市場アクセス等日本側の問題	44	45	52	52	63	60	56
(2) 米国財政赤字、日本の内需等マクロ経済の問題	35	35	35	34	25	22	27
(3) 米国産業の競争力の問題	11	13	7	8	7	12	11
(4) 上記 3 つのすべてが理由/意見なし	6	6	5	4	4	3	4
(5) その他	4	1	1	0	1	3	2

設問 10 - b : 次のいずれの方法が日本経済の回復に最も効果的と考えるか。(注)本設問は99年より追加。

	(%)				
	2003	2002	2001	2000	1999
構造改革	73	75	79	76	82
マクロ経済刺激策	11	13	11	13	12
双方	1	2	2	2	2
意見なし	14	7	6	7	3
その他	1	3	2	2	1

設問 1 1：日本の安全及び極東における国際の平和と安全の維持のため米軍基地を日本国内に設置することを定めた安全保障条約は、同地域の平和及び安定に貢献していると思うか。

	(%)						
回答：	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
非常に貢献している	55	49	50	50	52	50	40
やや貢献している	28	32	33	33	35	37	40
わずかしか貢献していない	11	12	13	11	9	9	9
まったく貢献していない	3	4	3	3	3	3	3
意見なし	3	3	1	3	1	1	2

設問 1 2：日米安全保障条約は、米国自身の安全保障にとり重要であると思うか。

	(%)						
回答：	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
極めて重要である	48	54	42	46	52	46	38
ある程度重要である	36	31	40	39	34	39	46
あまり重要でない	9	8	12	10	11	10	12
全く重要でない	5	5	4	2	3	3	2
意見なし	2	2	2	3	0	2	2

設問 1 3 : 米国は現在の日米安全保障条約を維持すべきと考えるか。

	(%)						
回答 :	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
維持すべき	87	87	85	86	89	91	88
そうは思わない	5	7	10	6	6	5	7
意見なし	8	6	5	8	5	4	5

(注) この設問は96年より実施。

設問 1 4 - a : 日本は防衛力を増強すべきと考えるか。

	(%)						
回答 :	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
増強すべき	65	64	67	65	64	64	70
そうは思わない	27	28	28	28	31	30	26
わからない	8	8	5	7	5	6	4

設問 1 4 - b : 何故増強すべきと考えるか (複数回答)。

	(%)						
回答 :	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
アジアにおける平和と安定に寄与するため	96	95	96	95	96	96	97
米国と負担を分かち合うべき	96	93	94	96	97	96	94
自ら防衛すべき	89	87	88	85	85	87	90

(注) この設問は93年より実施。

設問 1 5 : 日本についての知識及び情報はどこから得てるのか (複数回答)。

回答 :	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
(1) 新聞	95	91	94	94	95	96	97
(2) 雑誌・書籍	93	89	93	92	92	93	96
(3) テレビ	72	65	67	72	74	79	80
(4) 学校教育	57	56	64	60	56	58	58
(5) 日本人の友人	54	56	62	61	52	58	56
(6) 友人・隣人	44	44	46	41	40	46	40
(7) ラジオ	43	45	41	46	47	45	51
(8) 訪日経験	39	38	42	39	38	40	39
(9) 映画	39	35	38	33	36	35	36
(10) インターネット	47	44	45	35	28	29	20

(注) 「映画」、「インターネット」は97年より追加。

設問 1 6 - a : 日米両国が地球規模の問題に対処するために協力している日米コモン・アジェンダを知っているか。

(注) 設問 1 6 - a、bは98年より実施。

回答 :	2003	2002	2001	2000	1999	1998
よく知っている	16	16	20	12	15	14
詳しくはないが聞いたことはある	40	44	43	42	39	41
聞いたこともない	44	39	37	46	45	45
意見なし	0	1	0	0	1	0

設問 16 - b : 現在、日米両国が協力して対処している以下の地球規模問題のうち、どの分野についてより詳しく知りたいと思うか。

回答 :

(1) 保健と人間開発の促進 (含む人口増加・エイズ問題) 。 (%)

	2003	2002	2001	2000	1999	1998
もっと知りたい	67	66	68	65	58	58
もっと知りたいと思わない	33	33	32	35	42	42
意見なし	0	1	0	0	0	0

(2) 人類社会の安定に対する挑戦への対応 (テロリズム、麻薬対策等) (%)

	2003	2002	2001	2000	1999	1998
もっと知りたい	73	70	65	61	62	61
もっと知りたいと思わない	27	29	35	38	38	39
意見なし	0	1	0	1	0	0

(3) 地球環境の保護 (%)

	2003	2002	2001	2000	1999	1998
もっと知りたい	70	77	75	76	70	73
もっと知りたいと思わない	30	23	25	24	29	27
意見なし	0	0	0	0	1	0

(4) 科学技術の進歩

(%)

	2003	2002	2001	2000	1999	1998
もっと知りたい	74	75	73	82	75	79
もっと知りたいと思わない	26	24	27	18	25	21
意見なし	0	1	0	0	0	0

設問 17 : 国際社会における日米の利害は両立すると考えるか、または対立すると考えるか。

回答 :

(%)

	2003	2002	2001	2000	1999	1998	1997
基本的に両立する	21	20	16	15	15	15	11
時折軋轢が起こるが両立する	75	76	79	82	81	82	87
対立する	2	3	4	2	3	2	1
意見なし	2	1	1	1	1	1	1